ダイバーシティとインクルージョン推進に関わる理念と基本方針

北海道国立大学機構

理念

２０２２年４月、小樽商科大学、帯広畜産大学、北見工業大学が法人統合して国立大学法人北海道国立大学機構が発足しました。これまでも三大学はそれぞれ男女共同参画やダイバーシティの推進に取り組んできましたが、今後、北海道国立大学機構は、ダイバーシティ（多様性）とインクルージョン（包摂性）を推進するために、さらに取り組みを強化します。

大学は学問と良識の府であり、自由と平等の理念の下、そこに集う人々の多様な個性と価値観が尊重され、共に良く生き、豊かな人生を送るために必要な知性を育み、社会の健全な発展に貢献する新たな知を創造する場でなければなりません。そのためには、学生･教職員をはじめ、大学に関わるすべての人が、国籍、民族、人種、宗教、信条、年齢、性別、SOGI（性的指向、性自認）、障害、ライフイベント、ライフスタイルなどの個人の事由によって差別されることなく等しく尊重され、自己の尊厳を守ることができるようダイバーシティとインクルージョンに富んだ環境を実現することが必要です。

北海道国立大学機構は以下の基本方針に基づいて目標の実現に向け努力を続けます。

基本方針

1. 大学の多様な構成員が互いの個性と価値観、人権を尊重し、ワークライフバランスの取れた豊かで幸福な人生を送ることができるよう職場環境の向上に努めます。
2. 大学の多様な構成員の個性と価値観、人権を尊重する包摂性の高い組織の運営に努めます。
3. ダイバーシティとインクルージョンを推進するための体制整備と啓発活動を推進し、教育・研究環境、労働環境、男女共同参画・女性活躍推進など共生環境の向上・改善に計画的に取り組みます。